

2016年1月20日

株式会社ネクス
テクノスデータサイエンス・マーケティング株式会社

テレマティクス市場において テクノスデータサイエンス・マーケティングと業務提携

株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：秋山司、以下、「ネクス」）と、株式会社テクノスジャパンと株式会社 ZMP が出資するテクノスデータサイエンス・マーケティング株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：城谷直彦、以下「TDSM」）は今後活発化していく自動車テレマティクス分野^{*1}において、業務提携したことをお知らせします。

ネクスは国内市場向けとして、業界最高レベルのデータ取得数、車両対応数を持つ OBD II^{*2} データ通信端末 GX410NC を製品化しており、車両からのデータ取得技術と通信技術を保有しております。すでに本通信端末を活用した実証試験を多くの企業でスタートさせております。

TDSM は各業界・業務毎に経験豊富なデータサイエンティストを多数保有しており、高度な解析スキルを強みとしております。TDSM は、すでに IoT を活用したデータ分析の実績があるほか、独自のアルゴリズム解析技術を搭載した AI 製品「scorobo」などの自社製品も提供しており、更なる拡張を目指して、業界・業種別に使用できる「Omni-Scorobo」も発売、今後の顧客層拡大を図る計画も進めています。プラットフォーム基盤においても、日本マイクロソフト・セールスフォース・IBM といったクラウドベンダーと協業体制を構築してきました。

自動車テレマティクス市場は IoT の発展と共に、大きく成長している分野であり、インターネットに接続されているコネクテッドカーの市場規模は世界でも 2012 年の約 760 万台から 2025 年には 10 倍以上の 8500 万台になるとの予測があり、日本においては 2012 年の 9 万台から 2025 年には約 140 倍の 1,275 万台にも拡大すると予測されております。^{*3}

これら事由から両社では業務提携の一環としてテレマティクスデータ解析ソリューションを提供し、リアルタイムで大量の車両データ取得からデータ分析までをワンストップに提供することを可能とします。また今回は、マイクロソフト社が提供する Microsoft Azure 基盤を用いて、テレマティクスプラットフォームを提供することにより、ネクスが従来進めてきた解析ソリューションの事業効率化及びコスト軽減化を実現し、顧客企業にとっても早期立ち上げが可能になります。

導入目標としては 1 年以内に、BtoB 市場において 5 法人。3 年以内に 30 法人を目指します。

ターゲットとする企業として、テレマティクス保険^{*4}や運送業、レンタカー、その他業務用車両を直接保有する法人、ガソリンスタンド、アフターパーツ販売店など大きく拡大する可能性があります。

国内最大のデータ種類及び最大車種数に対応したデバイスを活用することで、エコドライブによるコスト削減・フリート保険料負担軽減化、昨今問題になっている事故の抑制・防止、居眠り防止や渋滞抑制等、多くのニーズにこたえることが可能となります。

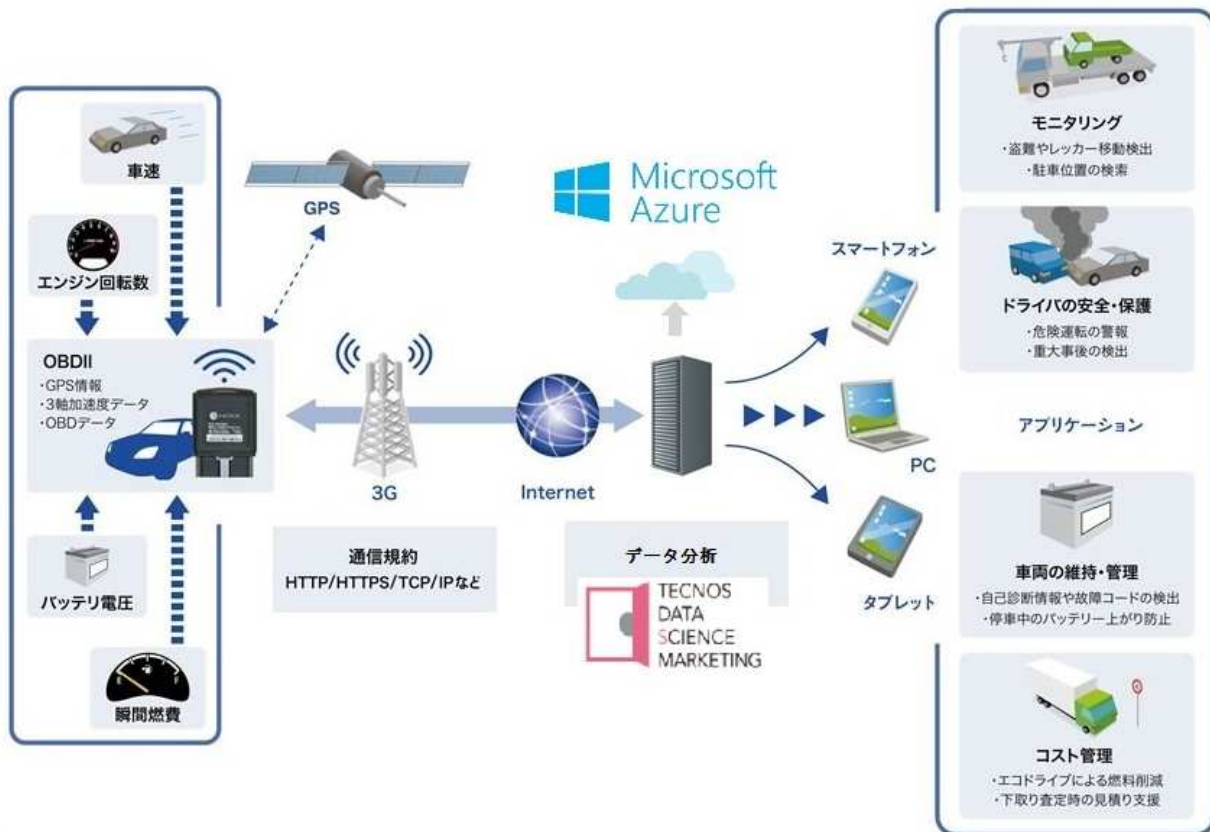
加えて、今後普及が進む自動運転においても、運行データの収集や地域毎の車両の流れや傾向などの予測にも分析されたテレマティクス・ビッグデータを活用できる可能性がある為、両社は市場の拡大に沿った売上拡大を図るべく継続してノウハウを蓄積し、ビジネスを展開していく予定です。

■日本マイクロソフト様からのエンドースメント

この度のテクノスデータサイエンス・マーケティング様とネクス様のテレマティクス分野での業務提携を心より歓迎いたします。Microsoft Azure が持つIoT、データ解析向けのさまざまな機能社で提供されるテレマトリクス解析ソリューションに活用されることで、自動車関連におけるさまざまな課題解決と、さらなるクラウドサービスの活用が進むことを期待しております。今後も日本マイクロソフトは、テクノスデータサイエンス・マーケティング様と連携し、IoT 分野における新たなビジネスの立ち上げを支援してまいります。

日本マイクロソフト株式会社 パートナーセールス統括本部 業務執行役員 統括本部長
佐藤 恭平

■ソリューションイメージ体系



■ネクスの OBD II データ通信ユニットの特徴

基本取得項目 (10 種類)	
瞬間燃費	積算距離
燃料噴射量	積算燃料
車速	バッテリー電圧
エンジン回転数	ブレーキスイッチ
エンジン冷却水温	アクセルスロットル開度



- ・データ通信機能を活用し車両情報をサーバーに登録することで、OBD 端子に接続するだけの簡単セットアップ
- ・業界最大レベルの国内 900 種類以上の車種に対応し、ソフトウェア自動更新により対応車種を今後も順次拡大可能
- ・OBD II データ 10 種、GPS、加速度データに対応し、車種固有の 28 種類の追加データも順次対応
- ・特殊車両についても相談の上対応可能

※1：自動車テレマティクス

テレマティクス (Telematics) とは、テレコミュニケーション (Telecommunication=通信) とインフォマティクス (Informatics=情報工学) から作られた造語で、移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供することの総称。

※2：OBD

OBD (On-board diagnostics) とは、自動車に搭載されるコンピュータ (ECU) が行う自己故障診断のこと。一般に OBD が故障診断した場合は、故障の箇所や内容をランプの点灯や明滅あるいはブザー音などの鳴動でドライバーに伝え、その内容に応じたコードを記録する。専用端末あるいは汎用ソフトウェアを用いて記録されたコードを得ることにより、その内容を解析できる為、様々な用途での活用が今後見込まれている。

※3：一般財団法人 日本総合研究所調査

※4：テレマティクス保険

テレマティクス技術を使った自動車保険。 個別の運転情報をもとに保険料を決めるのが特徴。 自動車に設置した端末から走行距離や運転速度、急発進や急ブレーキの回数等の情報を集め、事故のリスクを割り出して保険料を算定する。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ネクス

〒107-0062 東京都港区南青山 5-4-30 CoSTUME NATIONAL Aoyama Complex 2F

TEL : 03-5766-9870 平日 9 時～18 時

E-mail : sales@ncxx.co.jp 24 時間受付

テクノスデータサイエンス・マーケティング株式会社

〒163-1432 東京都新宿区西新宿 3-20-2 オペラシティタワー32 階

TEL : 03-6383-3261 (代表) 平日 9 時～18 時

E-mail : info@tecnos-dsm.co.jp 24 時間受付